



Cisco WAAS ソフトウェア コマンド 要約

この章では Cisco WAAS 4.0 ソフトウェア コマンドを要約します。

表 2-1 に WAAS コマンドをアルファベット順にリストし、各コマンドのコマンドモードを示します。コンフィギュレーションモードのアクセスに使用されるコマンドには、アスタリスクでマークされています。特定のモードを表示しないコマンドは、EXEC モード コマンドです。同じコマンドでも別のコマンドモードで入力されたときは別の結果をもたらすことがあります。このため、別にリストして説明します (CLI コマンドモードの使用方法については、第 1 章「WAAS コマンドライン インターフェイスの使用法」を参照してください)。

表 2-1 では、デバイス モード列の「すべて」は、特定の CLI コマンドが central-manager モードと application-accelerator モードの両方でサポートされていることを示しています。



(注)

オンラインでこのマニュアルを参照するには、表の左の欄にあるコマンド名をクリックし、そのコマンドのページにジャンプしてください。コマンド構文、使用例、使用上の注意事項が記載されています。

このマニュアル全体を通じて、「WAAS デバイス」という用語は、WAAS Central Manager および WAE を総称して使用されています。「WAE」という用語は、WAAS ソフトウェアが稼働するサポートされる WAE プラットフォームを総称しています。

表 2-1 コマンドの要約

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
cd	AAA アカウンティングを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) adapter	EndPoint Mapper (EPM) サービスをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) alarm overload-detect	アラーム オーバーロードの検出を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) asset	資産タグ文字列のタグ名を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) authentication	管理ログインの認証パラメータと許可パラメータを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config) auto-register	DHCP を使用した、WAE 上でのプライマリ インターフェイスの検出および WAAS Central Manager への自動登録をイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config-if) autosense	現在のインターフェイスを自動感知に設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config-if) bandwidth	指定されたインターフェイス帯域幅を 10、100、1000 Mbps のいずれかに設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) banner	Message of the Day (MOTD; 日付メッセージ)、ログイン、ログイン バナーと EXEC バナーを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) bypass	WAE にバイパス機能を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
cd	ディレクトリを変更します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) cdp	WAAS デバイスに対して Cisco Discovery Protocol (CDP) をイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-if) cdp	特定のインターフェイスで CDP をイネーブルにします。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) central-manager	application-accelerator モードでは、WAE を登録する必要のある WAAS Central Manager の IP アドレスを指定するために使用されます。 central-manager モードでは、WAAS Central Manager のロールと GUI ポート番号を指定するために使用されます。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
clear	カウンタおよび他の指定された機能をリセットします。	特権レベル EXEC	すべて
clock	システム クロックを管理します。	特権レベル EXEC	すべて
(config) clock	夏時間と時間帯を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
cms	Centralized Management System (CMS; 中央集中管理システム) に組み込まれたデータベースのパラメータを設定します。	特権レベル EXEC	すべて
(config) cms	メンテナンスをスケジュールし、特定の WAAS デバイスの CMS をイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
configure*	特権 EXEC モードからコンフィギュレーション モードを開始します。	特権レベル EXEC	すべて
copy cdrom	CD-ROM からファイルをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
copy compactflash	Compact Flash カードからファイルをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
copy disk	ディスクから設定情報またはファイルをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
copy ftp	FTP サーバからファイルをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
copy http	HTTP サーバからファイルをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
copy running-config	現在のシステム設定から情報をコピーします。	特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)


コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
<code>copy startup-config</code>	スタートアップ コンフィギュレーションから情報をコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>copy sysreport</code>	システムのトラブルシューティング情報をコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>copy system-status</code>	デバッグの参照用にシステム ステータスをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>copy tech-support</code>	テクニカル サポート用にシステム情報をコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>copy tftp</code>	TFTP サーバからソフトウェア イメージをコピーします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>cpfile</code>	現在のディレクトリにファイルをコピーします。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>debug</code>	デバッグ オプションを設定します。  (注) <code>debug</code> オプションの <i>dre</i> 、 <i>epm</i> 、 <i>print-spooler</i> 、 <i>tfo</i> 、 <i>wafs</i> 、および <i>wccp</i> は、 <code>application-accelerator</code> デバイス モードの場合にのみサポートされます。	特権レベル EXEC	すべて
<code>(config-std-nacl) delete</code>	標準 ACL から 1 行を削除します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
<code>(config-ext-nacl) delete</code>	拡張 ACL から 1 行を削除します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
<code>delfile</code>	ファイルを削除します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>deltree</code>	ディレクトリおよびそのサブディレクトリを削除します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>(config-std-nacl) deny</code>	WAAS デバイスがドロップするパケットのタイプを指定する行を標準アクセスリストに追加します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
<code>(config-ext-nacl) deny</code>	WAAS デバイスがドロップするパケットのタイプを指定する行を拡張アクセスリストに追加します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) device mode</code>	WAAS デバイスのデバイス モードを指定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>dir</code>	長いリスト形式でファイルを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>disable</code>	特権 EXEC コマンドを無効にします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>disk</code>	<code>cdnfs</code> 、 <code>cfs</code> 、 <code>mediafs</code> 、および <code>sysfs</code> ファイル システムにディスクを割り当てます。	特権レベル EXEC	すべて
<code>(config) disk</code>	ディスク エラーの処理方法を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>dnslookup</code>	DNS ホスト名を解決します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>enable*</code>	特権 EXEC コマンドにアクセスします。	ユーザ レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config) end	コンフィギュレーション モードおよび特権 EXEC モードを終了します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) exec-timeout	非アクティブ Telnet または SSH セッションを開いたままにしておく時間の長さを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
exit	特権 EXEC モードを終了します。	特権レベル EXEC	すべて
(config) exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-if) exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config-std-nacl) exit	標準 ACL コンフィギュレーション モードを終了します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config-ext-nacl) exit	拡張 ACL コンフィギュレーション モードを終了します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config) external-ip	WAE に最大 8 個の IP アドレスを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
find-pattern	ファイル内の特定のパターンを検索します。	特権レベル EXEC	すべて
(config-if) full-duplex	現在のインターフェイスを全二重モードに設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config-if) half-duplex	現在のインターフェイスを半二重モードに設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config-if) inline	inlineGroup インターフェイスのインライン インターセプトを設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
help	EXEC モードの WAAS コマンドライン インターフェイスをサポートします。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) help	WAAS コマンドライン インターフェイスをサポートします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) hostname	グローバル コンフィギュレーション モードで WAAS デバイスのホスト名を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) inetd	FTP、RCP、および TFTP サービスをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
install	フラッシュ メモリに新しいイメージをインストールします。	特権レベル EXEC	すべて
(config) interface*	ギガビットイーサネット、ポート チャネル、またはスタンバイ インターフェイスを設定します。インターフェイス コンフィギュレーション モードにアクセスします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) ip	WAAS デバイスにネットワーク デバイス設定の初期設定値 (デフォルト ゲートウェイの IP アドレスなど) を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-if) ip	WAAS デバイスのインターフェイス上で IP アドレス、サブネット マスク、または DHCP IP アドレス ネゴシエーションを設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config-if) ip access-group	定義済みアクセス リストを設定することによって、特定のインターフェイスでの接続を制御します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) ip access-list*	インターフェイスまたはアプリケーションのアクセス制御のため、アクセス リストを作成または修正します。ACL コンフィギュレーション モードにアクセスします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) kerberos	Kerberos データベースに対してユーザ認証を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) kernel	カーネル デバッガ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
less	LESS アプリケーションを使用してファイルの内容を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) line	端末回線設定を指定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-std-nacl) list	標準 ACL 内の指定したエントリのリストを表示します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config-ext-nacl) list	拡張 ACL 内の指定したエントリのリストを表示します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
ls	長いリスト形式でファイルを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) logging	システム ロギング (syslog) を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
ls	ディレクトリ内のファイルとサブディレクトリをリストします。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
mkdir	ディレクトリを作成します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
mkfile	ファイルを作成します (テスト用)。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config-std-nacl) move	標準 ACL 内で行を新しい位置に移動します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config-ext-nacl) move	拡張 ACL 内で行を新しい位置に移動します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config-if) mtu	インターフェイスの最大伝送ユニット (MTU) パケット サイズを設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) no	グローバル コンフィギュレーション コマンドを無効にするか、そのデフォルト値に設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-if) no	インターフェイス コマンドを無効にするか、それをデフォルト値に戻します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) ntp	NTP サーバを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
ntpdate	NTP サーバ名を設定します。	特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config-std-nacl) permit	処理を続行するために WAAS デバイスが許可するパケットのタイプを指定する行を標準アクセスリストに追加します。	標準 ACL コンフィギュレーション	すべて
(config-ext-nacl) permit	処理を続行するために WAAS デバイスが許可するパケットのタイプを指定する行を拡張アクセスリストに追加します。	拡張 ACL コンフィギュレーション	すべて
ping	エコー パケットを送信します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) policy-engine application classifier	WAE のアプリケーション ポリシーを定義し、そのポリシーに名前、分類子、およびポリシーマップを割り当てます。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map adaptor EPM	EndPoint Mapper (EPM) サービスの拡張ポリシー マップリストを使用して、WAE のアプリケーション ポリシーを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map adaptor WAFS transport	WAFS transport オプションを使用して、WAE のアプリケーション ポリシーを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic delete	特定の基本 (固定) アプリケーション ポリシーマップを WAE のアプリケーション ポリシーマップのリストから削除します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic disable	特定の基本 (固定) アプリケーション ポリシーマップを WAE のアプリケーション ポリシーマップのリストからディセーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic insert	新しい基本 (固定) アプリケーション ポリシーマップを WAE のアプリケーション ポリシーマップのリストに挿入します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic list	WAE の基本 (固定) アプリケーション ポリシーマップのリストを表示します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic move	基本ポリシー マップリストを使用し、L3 または L4 パラメータのみに基づいて、アプリケーション ポリシーを移動します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map basic name	WAE のアプリケーション ポリシーに基本ポリシー マップ名を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map other optimize DRE	未分類のトラフィックに対する WAE の <i>optimize DRE</i> コマンドのアクションを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map other optimize full	<i>optimize full</i> コマンド アクションを使用して、未分類のトラフィックの場合のアプリケーション ポリシーを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application map other pass-through	<i>pass-through</i> コマンド アクションを使用して、未分類のトラフィックの場合のアプリケーション ポリシーを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) policy-engine application name	アプリケーションに関する一般情報を指定する新しいアプリケーション定義を作成します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config) policy-engine config	アプリケーション ポリシー設定をすべて削除するか、WAE のアプリケーション ポリシーを工場出荷時のデフォルトに戻します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) port-channel	ポート チャンネル ロードバランシング オプションを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) primary-interface	WAAS サービスのプライマリ インターフェイスを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) print-services	WAAS プリント サービスをイネーブまたはディセーブルにし、管理グループを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
pwd	現在の作業ディレクトリを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) radius-server	WAAS デバイス上の RADIUS パラメータを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
reload	デバイスを停止してコールド リスタートを実行します。	特権レベル EXEC	すべて
rename	ファイル名を変更します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
restore	工場出荷時のデフォルトの状態にデバイスを復元します。	特権レベル EXEC	すべて
rmdir	ディレクトリを削除します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
scp	SCP クライアントを指定します。	特権レベル EXEC	すべて
script	スクリプト内のエラーを調べるか、またはスクリプトを実行します。	特権レベル EXEC	すべて
setup	基本的な設定値を設定します。インタラクティブなセットアップ ユーティリティを起動します。	特権レベル EXEC	すべて
show aaa accounting	AAA アカウンティング設定を表示します。	特権レベル EXEC	すべて
show adapter	EndPoint Mapper (EPM) アダプタのステータスと設定を表示します。		application-accelerator
show alarms	各種のアラーム、そのステータス、および履歴に関する情報を表示します。	特権レベル EXEC	すべて
show arp	ARP エントリを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show authentication	認証設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show auto-register	WAE の自動登録機能のステータスを表示します。	特権レベル EXEC	application-accelerator
show bypass	WAE のバイパス設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show cdp	CDP 設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
show clock	システム クロックを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show cms	管理サービス情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show debugging	各デバッグ オプションの状態を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show device-mode	デバイス モードを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show disks	ディスク設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show flash	フラッシュ メモリ情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show hardware	システム ハードウェア情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show hosts	IP ドメイン名、ネーム サーバ、IP アドレス、およびホスト テーブルを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show inetd	TCP/IP サービスのステータスを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show interface	ハードウェア インターフェイス情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show inventory	システム インベントリ情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show ip access-list	定義済みで特定のインターフェイスまたはアプリケーションに適用されているアクセス リストに関する情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show ip routes	IP ルーティング テーブルを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show kerberos	Kerberos 認証設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show logging	システム ロギング設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show memory	メモリ ブロックおよび統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show ntp	NTP 設定ステータスを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show policy-engine application	アプリケーション ポリシー情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show policy-engine status	ポリシーエンジンの包括的な情報を表示します。この情報には、アプリケーション名、分類子、条件などの使用可能なリソースの使用状況が含まれます。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show print-services	プリント サービス管理者およびプロセス情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show processes	プロセス ステータスを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
<code>show radius-server</code>	RADIUS サーバ情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show running-config</code>	現在稼働中のコンフィギュレーションを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show services</code>	サービスに関連する情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show smb-conf</code>	smb-conf 設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show snmp</code>	SNMP 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show ssh</code>	Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サービスのステータスと設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show standby</code>	スタンバイ インターフェイスの関連情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show startup-config</code>	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics authentication</code>	認証統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics content-distribution-network</code>	WAAS Central Manager に登録されている WAE または WAE グループのステータスを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	central-manager
<code>show statistics dre</code>	WAE の Data Redundancy Elimination (DRE) 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>show statistics dre connection</code>	WAE の DRE 接続統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>show statistics dre peer</code>	WAE の DRE ピア統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>show statistics epm</code>	DCE-RPC EPM 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>show statistics icmp</code>	ICMP 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics ip</code>	IP 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics netstat</code>	インターネット ソケット接続統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics radius</code>	RADIUS 認証統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics services</code>	サービス統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics snmp</code>	SNMP 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>show statistics tacacs</code>	TACACS+ 認証および許可統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
show statistics tcp	Transmission Control Protocol 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show statistics tfo	WAE の Transport Flow Optimization (TFO) 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show statistics udp	ユーザ データグラム プロトコル (UDP) 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show statistics wccp	WAE の WCCP 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show statistics windows-domain	Windows ドメイン設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show sysfs	システム ファイル システム (SYSFS) 情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show tacacs	TACACS+ 設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show tcp	TCP 設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show tech-support	シスコ テクニカル サポートのシステム情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show telnet	Telnet サービス設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show tfo accelerators	WAE のアクセラレータ、自動検出、バッファマネージャ情報、接続、およびステータスを含む Transport Flow Optimization (TFO) 情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo auto-discovery	WAE の TFO 自動検出統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo bufpool	WAE の TFO バッファ プール情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo connection	WAE の TFO 接続情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo filtering	WAE の TFO フロー情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo status	WAE の TFO ステータス情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show tfo synq	SynQ モジュールの Transport Flow Optimization (TFO) 統計情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show transaction-logging	WAE のトランザクション ロギング情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
show user	特定のユーザに関する情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show users administrative	管理ユーザを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
show version	ソフトウェアのバージョンを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
<code>show wccp</code>	WAE の WCCP 情報を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>show windows-domain</code>	Windows ドメイン設定を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>(config-if) shutdown</code>	指定されたインターフェイスをシャットダウンします。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
<code>shutdown</code>	デバイスをシャットダウンします (すべてのアプリケーションとオペレーティング システムを停止します)。	特権レベル EXEC	すべて
<code>(config) smb-conf</code>	Samba コンフィギュレーション ファイル <code>smb-conf</code> のパラメータを手動で設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server access-list</code>	アクセス コントロール リストを設定し、SNMP エージェントを介してアクセスできるようにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server community</code>	SNMP をイネーブルにします。つまり、コミュニティ スtring を設定し、オプションでグループに名前を付け、コミュニティ スtring で読み取り / 書き込みアクセスをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server contact</code>	システム担当者 MIB オブジェクトのテキストを指定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server enable traps</code>	SNMP トラップをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server group</code>	ユーザ セキュリティ モデル グループを定義します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server host</code>	SNMP トラップを受信するホストを指定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server location</code>	MIB オブジェクト <code>sysLocation</code> のパスを指定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server mib</code>	SNMP イベント MIB の永続性を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server notify inform</code>	SNMP のインフォーム要求を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server user</code>	SNMP エンジンにアクセス可能なユーザを定義します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>(config) snmp-server view</code>	SNMPv2 MIB ビューを定義します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>snmp trigger</code>	MIB 変数の SNMP トリガーを作成または削除します。	特権レベル EXEC	すべて
<code>ssh</code>	安全でないネットワークを経由する信頼できないクライアント マシンと WAAS デバイス間での、安全で暗号化された通信を可能にします。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>(config) sshd</code>	SSH サービスのパラメータを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
(config) ssh-key-generate	SSH ホスト キーを生成します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config-if) standby	あるインターフェイスが別のインターフェイスのバックアップになるように設定します。	インターフェイス コンフィギュレーション	すべて
(config) tacacs	WAAS デバイス上の TACACS+ パラメータを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
(config) tcp	TCP パラメータを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
tcpdump	ネットワーク上の TCP トラフィックをダンプします。	特権レベル EXEC	すべて
telnet	Telnet クライアントを起動します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
(config) telnet enable	Telnet サービスをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
terminal	端末出力コマンドを設定します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
tethereal	コマンドラインからネットワーク トラフィックを分析します。	特権レベル EXEC	すべて
(config) tfo auto-discovery	オプションで TCP パケットを受信できない発信元サーバを検出します。指定された時間(分)、IP アドレスをブラックリストに追加します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo optimize	WAE 上で DRE の TFO 最適化または完全汎用最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp keepalive	WAE 上で TCP キープアライブを使用した TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp optimized-mss	WAE 上で最適化する側の TCP 最大セグメントサイズを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp optimized-receive-buffer	WAE 上で最適化する側の受信バッファを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp optimized-send-buffer	WAE 上で最適化する側の送信バッファを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp original-mss	WAE 上で最適化しない側の TCP 最大セグメントサイズを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp original-receive-buffer	WAE 上で最適化しない側の受信バッファを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
(config) tfo tcp original-send-buffer	WAE 上で最適化しない側の送信バッファを使用して、TFO 最適化を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
traceroute	リモート ホストへのルートを追跡します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
transaction-log	WAE 上で、TFO のトランザクション ロギングとエクスポートを強制実行します。	特権レベル EXEC	application-accelerator
(config) transaction-logs	WAE にトランザクション ロギングを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator

表 2-1 コマンドの要約 (続き)

コマンド	説明	CLI モード	デバイス モード
<code>type</code>	ファイルを表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>type-tail</code>	ファイルの最後の数行を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>undebug</code>	デバッグ機能をディセーブルにします (<code>debug</code> を参照)。	特権レベル EXEC	すべて
<code>(config) username</code>	ユーザ名認証を確立します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>wafs</code>	WAE 上で、システム設定のバックアップを実行するか、またはシステム設定を復元し、システム レポートを作成します。	特権レベル EXEC	application-accelerator
<code>(config) wccp access-list</code>	WAE 上で、着信 Web Cache Coordination Protocol (WCCP) GRE カプセル化トラフィックの IP アクセス リストを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp flow-redirect</code>	WAE 上で WCCP フロー リダイレクションをイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp router-list</code>	WCCP バージョン 2 サービスで使用するための ルータ リストを WAE 上で作成します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp shutdown</code>	WAE がクリーン シャットダウンを実行してからの最大時間間隔を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp slow-start</code>	WAE 上のスロー スタート機能をイネーブルにします。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp tcp-promiscuous</code>	WAE に TCP 混合モード サービス (WCCP バージョン 2 サービス 61 および 62) を設定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>(config) wccp version</code>	WCCP バージョン番号を指定します。	グローバル コンフィギュレーション	application-accelerator
<code>whoami</code>	現在のユーザの名前を表示します。	ユーザレベル EXEC および特権レベル EXEC	すべて
<code>windows-domain</code>	Windows ドメイン ユーティリティにアクセスします。	特権レベル EXEC	すべて
<code>(config) windows-domain</code>	Windows ドメイン サーバ オプションを設定します。	グローバル コンフィギュレーション	すべて
<code>write</code>	スタートアップ コンフィギュレーションを NVRAM または端末セッションに書き込むか消去します。あるいは MIB の永続的な設定をディスクに書き込みます。	特権レベル EXEC	すべて

